

I 国道1号藤枝バイパス整備促進委員会 要望活動（国土交通省）

◇日 時：令和5年11月13日（月）14:45～15:00

◇要望先：岸川 仁和 国土交通省 道路局 次長
高松 諭 国土交通省 道路局 国道・技術課長

◇藤枝市：工藤 道夫 藤枝第4自治会長
中西 一郎 藤枝第1自治会長
青島 一利 藤枝第3自治会長
三好 廣志 藤枝第9自治会長
加藤 誠 藤枝第10自治会長

◇同 席：井林 辰憲 衆議院議員

（井林 議員）

- 今回は、4車線化による効果が大きい地域である藤枝地区の皆様と一緒に要望に伺った。
- もう少しで潮トンネルが貫通することであるが、今後も4車線化事業はスピード感を持って進めていただきたい。
- 藤枝市は、子どもが多い街である。投資の価値があるため、重点的にお願いしたい。
- 「道の駅（仮）かりやど」や、（都）天王町仮宿線の整備への支援もお願いしたい。

（工藤 会長）

- スピード感のある取り組みをお願いしたい。

（中西 会長）

- 昼夜問わず、上下線とも渋滞している。バイパスが渋滞すると、島田岡部線（旧国道1号）も渋滞するため、一日も早い完成を望んでいる。

（青島 会長）

- バイパスで事故が起きると、市内の生活道路へ影響が出る。
- バイパス渋滞の影響で、通学路にも多くの車が入ってくるため、大変危険である。

（岸川次長）

- 藤枝バイパスが地域の方にとって重要であることを深く理解した。

（高松 課長）

- 藤枝バイパスは、広幡から先も長いので着実に進めていきたい。
- 事業が早く進むよう藤枝市と協力して取り組んでいきたい。

